

Valuence

Circular Design Company

バリュエンス、TCFD 提言に基づく情報を開示

地球、そして私たちのために循環をデザインする「Circular Design for the Earth and Us」をパーパスに掲げ、大切なことにフォーカスして生きる人を増やすことを目指すバリュエンスホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表：嵯本 晋輔、以下 当社）は、「気候関連財務情報開示タスクフォース（以下 TCFD）^{※1}」の提言に基づいた気候変動に関する情報を当社コーポレートサイトにて開示いたしました。

当社グループは 2011 年の設立以降、不要なモノを捨てるのではなく次に必要な人へとつなげ、より多くの人にその価値を楽しんでいただくラグジュアリー品や骨董品、美術品等のリユースをビジネスの中核に置いています。そしてこの事業の拡大を通じて不要になったものに価値を見出し、誰かにとって必要なものとして循環させることでサーキュラエコノミーへの移行を加速させてまいりました。

また、当社グループでは世界的に急務であり重要視されている「気候変動」への対応について、優先的 ESG 課題（マテリアリティ）を特定し、その中で「2030 年までにバリューチェーン全体におけるカーボンニュートラルを目指す^{※2}」目標を 2021 年 10 月に設定いたしました。2022 年 9 月には、金融安定理事会によって設置された TCFD への賛同及び「TCFD コンソーシアム」へ加盟。そして今回、TCFD が提言するフレームワークに基づいた情報を開示いたしました。



今後も、気候変動に対する取り組みの推進と TCFD 提言に基づく情報開示の充実に努め、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

■TCFD 提言に沿った情報開示

<https://www.valuence.inc/sustainability/>

※1 気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）（Task Force on Climate-related Financial Disclosures）

TCFD は、各国の中央銀行・金融当局や国際機関が参加する金融安定理事会（FSB）によって 2015 年に設立されたタスクフォースです。気候関連のリスク及び機会に関する「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」の 4 項目について、企業等がステークホルダーに対して情報を開示することを提言しています。

TCFD ウェブサイト：<https://www.fsb-tcfid.org/>

※2 バリュチェーン全体での温室効果ガス排出量は、自社からの排出（Scope1、Scope2）に加え、事業活動に関わる間接的な排出（Scope3）を対象とします。

■バリュエンスホールディングス株式会社（<https://www.valuence.inc/>）

- ・証券コード：9270（東証グロース市場）
- ・設立：2011年12月28日
- ・代表取締役社長：寄本 晋輔
- ・本社所在地：東京都港区南青山五丁目6番19号 MA5
- ・事業内容：グループ全体の経営・マネジメント強化、戦略立案・策定、企業価値の最大化